

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
岡山県地域ワークショップ 報告書

日時	2020（令和2）年2月17日（月）14：00－16：45
会場	ホテルメルパルク岡山3階芙蓉
参加者	65名（岡山県教育庁5名、推進校・学校49名、教育局指導主事10名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>14：00 開会挨拶 岡山県教育庁保健体育課 総括主幹 片岡敏行</p> <p>14：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について 日本体育大学 特別研究員 乳井勇二</p> <p>14：25 講演「オリンピック・パラリンピック教育に期待すること」 岡紀彦（パラ卓球） 井上全悠（パラ卓球）</p> <p>15：10 休憩</p> <p>15：20 実践発表 ・高梁市立宇治小学校 ・倉敷市立新田中学校 ・県立玉野光南高等学校</p> <p>16：20 グループワーク ・各校での効果的なオリンピック・パラリンピック教育実践に向けて</p> <p>16：45 閉会</p>
内容	<p>はじめに、本学より、本事業の概要説明、オリンピック・パラリンピック教育の進め方および他地域での実践事例について説明を行った。</p> <p>続く講演では、以前に比べるとパラスポーツへの理解や認知度が高まっており、さまざまな場所でバリアフリーが増えている。東京大会後もさらに広がることを望んでいる。また障がいを持っている人も早い年代でパラスポーツに出会えることができればさらに可能性を広げることができるため、多くの人々がパラスポーツに出会える環境を望んでいるなど、さらなるパラスポーツへの理解を求めた。</p> <p>実践発表では、岡山県内推進校12校のうち推進校3校より報告があった。</p> <p>最後に、各学校での効果的なオリンピック・パラリンピック教育の実践に向け、「学校の特徴（教育目標・教育活動）」、「地域からみたオリンピック・パラリンピック（ホストタウン・地元出身選手）」、「実践してみたいオリンピック・パラリンピック教育」というテーマのもとグループワークが行われた。</p>



会場の様子



グループワークの様子